

富士重工業と日本 IBM 高度運転支援システム分野での協業を開始

～運転支援システム アイサイトの実験映像データの解析システム構築と IBM のクラウドおよび人工知能技術を活用した検討に着手～

富士重工業株式会社（代表取締役社長：吉永泰之／以下、富士重工業）と日本アイ・ビー・エム株式会社（代表取締役社長執行役員：ポール与那嶺／以下、日本 IBM）は、高度運転支援システム分野における、実験映像データの解析システムの構築、ならびに、クラウドおよび人工知能技術に関する協業検討について合意しました。

富士重工業は、日本 IBM と協力して、ステレオカメラを用いた運転支援システム アイサイト^{*1}等の先進安全システムの膨大な実験映像データを集約して統合的に管理するシステムを構築し、2016年4月より運用を開始しました。これにより、開発者が必要とするシーンの実験映像データの検索や解析が容易となり、高度な運転支援の実現に向け、大幅な開発効率の向上につながる見込みです。

さらに今後は、IBM クラウドを基盤とした自動車業界向けのインターネット（IoT）ソリューションである「IBM Watson Internet of Things (IoT) for Automotive（アイ・オー・ティー・オートモティブ）」^{*2}を活用した新たなシステムの構築に向けた検討や、高度な運転支援の実現に向けて、クラウドおよび人工知能分野における最新技術の特性を把握し、高度運転支援システムにおける技術適用の可能性の検証などを進めていきます。

富士重工業は、「自動車事故をゼロにすること」を目指し、アイサイトで実証された安全性能と信頼性をさらに進化させ、スバルらしい自動運転の実現に向けた技術開発を進めています。今回の日本 IBM との協業は、その開発を加速させ、技術レベルを飛躍的に進化させるためのベースとなるものです。今後もクルマを愉しむための安全技術として運転支援システムを磨き続けていき、安心して楽しいドライビングのための運転支援システムを実現していきます。

日本 IBM は、グローバルでのお客様との検討実績などのグローバルのネットワークを活かした支援を推進していきます。

*1 アイサイトは、世界で初めてステレオカメラのみで、自動車、歩行者、二輪車の検知までも実現した運転支援システムです。車両の前方衝突の回避または衝突被害の軽減を図ることに加え、全車速追従機能付クルーズコントロールやレーンキープ機能など、様々な予防安全機能を実現。アイサイトの安全性能は、世界各国の第三者機関から高い評価をいただくとともに、お客様からご支持をいただいております。

*2 「IBM Watson IoT for Automotive」は、IBM クラウドを基盤とした自動車業界向けのモノのインターネット（IoT）ソリューションです。本ソリューションは、車体の個々のセンサーから収集されるデータと他のデータを融合してリアルタイムな分析を支援します。